京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
定價　本紙一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲特別欄特別契約五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久幹一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社　電話大三、四五[illegible]番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一番
東京支局　東京市京橋區南鍋町七番地

●下宿屋の一日（一）

△〇生

秋來ぬと目には冴やかに見ねども窓の色が澄んで來て風の手にもう柿も甘くなる頃だナト思ひ乍ら矢張り床の中にもぐり込んで仰のけに空の青いのを見て居る、いつ迄も見て居るつもりであつたけれども下女がばた〳〵と驅けて來て九時だから起きよと頻りに忠告して呉れる……ので已むを得ず汁を熱くして置けと云つて飛び起きて、楊子が紛失したので含嗽丈けで室に歸る、床が上げてないので隅に押し遣つて烟草にマッチをつける、下女が飯を持つて來たが例に依つて汁は冷たく飯は他人の喰殘しを集めてある、我輩は朝腹するけれども下宿料は一人前拂つてあるから喰殘しと呉れるは大に不都合だと下女君に談じたが要領を得ぬ、飯を濟まして筆をとる錢がないから至急送れと書いて行き詰る、國許では愛想をつかして居る事は判かつて居るのだから何とか御機嫌をとらなければ成功しない、來月から月給五圓上げると支配人が云つたから此後は決して御無心申しませんと書き足した、これは友人に敎つた手段で我輩の未だ試みざる所だから必つと成功するだろう、洋服を引つぱり出して會社に行く、十時頃だ支配人は決して此樣な怠惰者を昇給させる氣遣ひはない。

四時半に歸る、布團が依然として隅に丸めてあるので下女を呼んで敷ませる下女は大に我輩の無性を攻擊したけれども、奚ぞ知らん我輩は下女君の攻擊を腹に收めて屁に放つ斗けの修養が積んであるのだ、序に掃除させる、序に洋服を疊ませ、序に靴を磨けと命じたけれども知りませんよと云つて逃げ去つた、新聞の雜報を讀んで居ると東京京橋のカフエープランタンでウヰスキーを呑んで三文文士が文藝を論じて居たと云ふ記事がある、我輩は巴里のカフエーを活動寫眞で見ただけであるが想像するに頗る面白さうだ、當地だと青木堂と云ふ處だけれども俗物共と醜物共との間に這入つて呑むのは我輩の超越的財布に錦を入れた孔方子先生が泣くだろうと云ふ懸念があるから安穏なる此三疊の室を以て假りにカフエーと想定する事に定めた、又鈴を押して下婢を呼びウヰスキーと梨を命ずる机を中央に出してテエブルに代用する其上に正宗の四合瓶に栗の枝をさして置く、頓がてウヰスキーが運ばれた。

誰れか友人が來ればよいがと思つたけれども來ぬ、獨りで呑んで居る大分酔つて來た、若し此室が佛蘭西であるとすれば我輩は萬里波濤を越へて來た遊子である、然らば今郷國の親友を想ふのは異境放浪の客として感慨無量であらう茲に於いてか、興趣頗る湧き直に右に筆を執り左にコップを擧げ一暢一筆思ひを秋風に載せて遙か彼方山青く海靜なる國への消息文を書く一杯一行三杯三行、筆駛る事馬よりも疾し、突然下女が晩飯を持つて來たのでわけれ佛蘭西のカフエーは忽にして朝鮮と化して了つた、セエヌ川もノートルダムもサンゼリゼーの肥馬輕車もオペラ座の眼光帽影も、唯見る机上一個の栗の實に過ぎなかつた、盃中のウヰスキー未だ半に至らずしてリップバンウインクルの夢は覺めた。

新妻

妙子の兄

過る頃断片的に何やら書き附けて而してフイと止めて終つた、讀者に取りては或は止めた方が宜しかつたのかも知れぬ——面白くもないものを讀む苦痛を免れ得たゞが爲めに——雖然、私にとつて試ますると何だか相濟まぬ如な氣が致しますので言ひ譯がましい事も申す次第です、其當時差し迫つて居た明事も片付きましたから又少しの間何か書きつけして頂きます。

八月某日私と千代子との結婚式は南山の皇太神宮樣の階前で三宅神職によりて執り行はれ、直ちに披露の宴を〇〇ホテルに開いた。其夜の事である双方の親戚既に列座の前で私は千代子に向つて下の如く宣言した。

三ヶ月から一つ家に起臥して居たのだから私がお前の長所も短所も知ることが得たと同じくお前も私の短所や長所も知ることを得たらう、お互に夫れを知り合つて而してお互に結婚することを幸福と信じたのは、知り得たるお互の短所が其の長所よりも少く且つお互ひの精神に苦痛を與ふる程のものでないと信じたからであると信ずる、デ、お前の短所——云ひ得べくんば——夫れは餘りの柔順にある、短所とは餘りに勿体ない氣がする現代に於て實に珍とするに足るのだもの、而して夫れは冊かれる當面の所夫の僕や、お父さんやお母さんやには頗る都合が好い、と誰某でも思はれるだらうが此女の

ウエルス

如とも少々困るものであります、何故と云へば萬一叱りたい事の起つた場合氣の毒で叱れなくなる、で叱らねばならぬ事を叱らぬ、夫れでも私と此女とは以心傳心で會得するが死ぬ迄の間にはお互に會得した斗りでは行かぬ場合があるからであります加かも夫れが左程の大事でもなく失策でもなくしてサモ大事な失策の如に叱らねばならぬ場合が必ずともにあるものである、此場合お前は叱られたのか叱られたので無いかを理性で判斷して好んで苦勞を求めない如にして貰ひたいと云ふことを云つて置く。

兩手を突いて謹んで聽いて居た千代子は、此の時徐ろに顏を擡げた。其の眼は涙にうるんで居る。

「私は貴郎を信じて居り升」

語尾は奇しく顫へてホロリ落ちた涙の玉は膝に碎けた、言ひ知らぬ感想は我が胸にも逼る。

斯くて千代子は永久に我が家庭の人となつた。

文苑

杉の舍主人

○折にふれて

●●萩半綻●●
唐にしきなかばおりいでし心地して
ほころびそめぬ野邊の秋萩

●●水邊萩●●
咲きたわむいけのみぎはの萩のはな
水にひたれる枝もありけり

●●園中萩●●
園の萩野邊と見るまでひろごりぬ
つくり据たる鹿もたてれば

●●故郷の萩●●
ふる里はすすきばかりの野となりぬ
松もあらしを杉もありしを

●●女郎花●●
なまめきてたてる野中の女郎花
鬼ひとくちに折りてゆかばや

◎新刊紹介

●東京經濟雜誌「金融有價證券市況」「米穀買占と其制裁」「廣軌無期延期の說」外五六の論文何れも有益なり最後の「鼎軒田口先生傳」は宜しく切拔いて保存し置くの必要あり（一部十二錢東京々橋區彌左衞門町東京經濟雜誌）

●新我の愛「京城歷觀の力」は餘當あり傷ある文字なり其の他「眞の貞操僞の貞操」「無我愛と家國」何れも眞面目に而も面白く讀まる（一部三錢東京府千駄ケ谷我生活社）

●明治大學紀念號　創立三十年紀念として發行せるもの法學博士岸本辰雄氏外諸博士の文章を揭ぐ（東京神田駿河臺明治大學校友會）

●綿業會世界「世界と綿業會」「綿業會的綿業會」「綿業會の變遷」等大に讀むべし（一部十錢東京神田柳原川岸永井三星堂）

●いさば新報　編輯の體裁却々に宜しく唯土地柄の至つて少なくして地方種の多きを憾みとす（一部三錢大坂北區曾根崎町いさば新報）

●信友「何故に人生を得たりや」「眼人正機」「自方と他方」及其他の記事何れも眞摯にして首肯するに足る（一部六錢京城南山町本願寺別院内信友會）

召使お初　第百四十九回

黑法師

「お煎藥でござります、ちやつとお召し上り遊はしませ」

お察は藥を煎じ終りて、天目茶碗に移す間もなく、急々襖を開けたりき、お道は心の中を覺られまじく、淋しげに笑ひ掛けて。

「合藥にて手はれぬ、香を聞いたばかりで、もう悶ゐが下りたわの」

「嬉しいことでござります、然し用心に如くは無し、恰ど加減、お召し上り遊ばしませ、さうして暫時お臥み遊ばしては何うでござります」

「もうそれには及ばぬもの」

「けれどもまだお顔の色が優れませぬ、御氣分にお障りあるやう見ゆまする」

「その樣に云ふてたもる」とお道は知れぬやうに目を拭いて「異心を捨てゝも爲らぬ、お藥だけ戴くわの」

「恰どお加減でござります」とお察は嬉しげにすり寄て「大切なお身でござります、一寸したが原になつて、お患ひなされては爲りませぬ」

「うなた心切は忘れぬ、私の樣な者を主と思ふて、それ程迄心に掛けてたもる、異心は忘れぬ、死んでも忘れぬ」

「勿体ない、何を仰せ遊ばします、私一命はお藥湯を嫌ねうとして、相生也の手に掛つた、彼時斃きて居りまするを、今日まで存へ結構にお召使ひ下さるも、皆な旦那樣御恩でござります、さすれば一身を投げ出して、忠義を盡すが當然、御病氣のお世話位、召使の身に不思議はない、その樣に仰せ下さると、却て痛み入りまする」と云ふ中も心配氣に、お道の樣子を見てありしが「ちとお肩でも致しませうか」

「いゝ」とお道はさり氣無く「肩は今夜でも頼まうで、氣の毒ぢや海老屋まで行てたもるまいか」

「お安い事でござります、まだお午時を過ぎたばかり、今から參れば御門限までに歸れぬことでござりませぬ、お文とも參りまするか」

「急ぎの消息、これに認めて置いたわの」

お道は心の覺悟を見られまじく、夕顔蒔繪に燃ね立つばかりの緋の紐付けたる文箱を出して「御返事には及ばぬ此まゝ儀兵衛どのお手に渡すぢや」

「畏りござりまする」とお察は文箱を手に受けて「外に御用でござりませぬか誰方へもお托言はござりませぬか」

「皆樣へ宜しうの、取り分けて御新造へは、道がくれ〳〵御口上を申しあつたと執次いでたもるちやわの」

「心得てござります、お急ぎの御用とあれば、一寸も猶豫はならず、此からすぐ參ります」

「大儀ぢやの」

「お夕餉までには歸りまする、お淋しうも御機嫌克う……申すまで無けれども、御病氣をお厭ひ遊ばしませ」と云ひ置いて次へ退る、お道は襖の間に見透して、これが今生の別れ、これが主從一世の見納め、あはれ異心深き者よ、あはれ忠義に厚き者よ、そなた不在間に、非業の死を遂げしと聞かば、輕みなき主と恨みもせん、輕薄き心と嘲きもせん、されど恕せよ、生きるにも生き難き身、行先は只一筋、魂魄は殘に殘りて長く此方の身を守る、口の中に云ひかけて、忍びやかに泣き沈む。次の間に衣類着かへ、帶引き締めてありたるお察は、この泣き聲に驚きて再び奧をさし覗く、藤の花の凋れ、前に、お道は顏をうしろへ反向けて、齒を切ばり泣き入るさま、仔細あり氣に見ゑたりき。



廣告

京城新報

朝鮮郵船と競爭

補助金は無用乎

頃日、釜山滊船會社木浦航運會社及び元山方面の航海業者を代表せる人々の發起にて、朝鮮沿岸航海業者を營める各滊船會社を合併し、大資本の下に沿岸航海業の進歩發達を計り、併せて航路を延長するを目的とし、朝鮮郵船株式會社創立の計劃あり。朝鮮總督府にても其目的を贊し、同會社成立の曉には豫て發起人より内願せる年額補助金を下附せむとの内議ありとか。朝鮮沿岸の水陸物產に富めるは言ふ迄もなく其南海面は大小の島嶼星羅し、特に内地人の各道沿岸に移住せるもの日に月に多きを加ふるの今日に於て、沿岸乃至島嶼に交通の不自由なからしめんとするの計劃は最も時宜に適せるものにして、吾人亦其計劃の成就せむことを冀ふて止まざるものなるも。茲に吾人は發起人が會社計劃の遂行上政府の補助金を其第一義と置けりとの風說を耳にし、發起者の人々に一言注意を促がさいるを得ざるなり。素より風說の事なれば其眞なるや否疑なき能はざるも火の無き處煙上らず、果して之が事實なりとすれば、吾人は朝鮮郵船の計畫が自動的ならずして他動的依賴心を基とせるにあらざるやの疑を生ずと共に前途に對しても危惧の念を抱かずんばあらず。或は日ふ、將さに合同せむとする各會社は何れも現に若干の補助金を受けつゝあり、故に之を併せ大規模のものとなすに當つて補助金を請求するも決して不當ならずと。然り航海運輸事業は一面營利事業なると同時に一面公益事業たるの性質を有せるを以て時と場合によりては、營業者の出願を待たずして政府自から補助をなすを妨げず。然れども苟も沿岸航路統一を標榜し、海運界の一大刷振を目的として立てるものが、第一着に政府の補助金を頼りにするが如きは、これ世人をして補助金無くんば其經營困難なるかを想はしめ、計畫の進行上に一大障害を醸すなきを保せさるなり。而して朝鮮郵船創立の報傳はるや、釜山の萩野某は有力なる滊船數隻を備へ沿岸航海業を開始し、將來大に競爭せむとするの氣勢を張れり。然かも此新開業者が何等其筋の補助を仰がずして、世人を驚倒せしむる程の活動を試みるに至りしものは、要するに沿岸航路の前途有望にして補助金に頼らずとも收支相償ふもののあるを認めしに因る。之に反して朝鮮郵船の發起者が只管補助金に重きを置くの風說を傳へらるゝは吾人の頗る遺憾とする所なり。況んや競爭は進歩を意味す。大會社の發起者なるもの此際猛省一番補助金を眼中に置かずして所期の目的を貫徹せずして可ならむや。又政府に於ても、現在航海業者の狀態に注意し、補助金の下附を妄りにする事なく。以て裕かならざる國帑を割いて無益の方面に費消せざらむことの研究を怠る可からず。

東京電報

▲滿鮮兩鐵連絡會議　二十二日東京に於て滿鮮鐵道連絡會議を開きたるが三本武重氏及久保滿鐵課長の兩氏列席したり

▲總督歸任期　寺内總督は來る十月八九日頃東京出發すべし

▲樞密院會議　二十日樞密院會議の定日を各顧問官、前十時相前後して參集し宮中東溜に於て開會、御諮詢案一、臺灣總督府官制中改正の件一、臺灣總督府職員特別任用令中改正の件に就き岡野法制局長官及び宮尾拓殖局部長の說明ありて原案通可決、福岡假副議長より其旨奏上し十一時散會せり

▲復州方面の匪賊　淸國復州方面の匪賊勢猖獗にして鎭撫の兵士續々派遣されつゝあり

▲成都の鎭定　西川省成都に於ける暴動は鎭靜せりと北京政府は公表せり

▲明治學院の火災　明治學院ハリス紀念館は全燒せり

▲ロバート、ハート日逝く　淸國總稅務司たりしロバートハート氏は逝去せり

▲佛獨兩使の會談　獨逸外相キーデルレン、ウエヒテル氏及び佛國大使カンボン氏は目下巴里に逗留中なる佛國の提議に對する獨逸國の回答に關し會議する所ありたり今や兩國政府は友誼的になり佛國政府は直に答案を回送すべしと期待せらる

▲西班牙國の暴徒　西班牙國内の暴徒は其の後益々激烈を極めバルセロナ、バレンシア其の他各地に蔓延しつゝあり全國に戒嚴令を發するに至るべしと

▲西班牙の憲法停止　西班牙の革命盛んにして戒嚴令と共に憲法特權停止されたり

▲秋季皇靈祭　來る廿四日は秋季皇靈祭につき皇靈殿神殿に於て前八時朝の祭神を行はさせられ九時神祭を行はせられ十時　聖上皇后兩陛下

▲西國寺首相の執務　西園寺首相は輕微なる神經痛にかゝり十九日來駿河臺の自邸に引籠り中なりしが二十一日より官邸に出勤し緊急事務を取れり

▲露國の猶太人警戒　露首相ストリピン伯の暗殺に關係して猶太人の蜂起暴行を懼れ巡邏を派し嚴重に警戒しつゝあり

▲不正仲買人檢擧　警視廳は二十日より不正仲買人檢擧に着手したるが今日迄檢擧したるもの十八名なりといふ

▲墺國にも戒嚴令　維也納來電によれば物價騰貴の爲め暴徒各地に蜂起し戒嚴令を布き暴徒數百名を逮捕したり

▲海軍の小交迭　二十二日海軍の小交迭發表さる

▲御名代宮御乘船　來る十一月盤谷に於て擧行せらるべき暹羅國皇帝戴冠式御參列相成る筈の御名代伏見若宮博恭王殿下の御乘船は郵船會社滊船兒島丸に略決定せし由にて十月十一日横濱解纜三十日新嘉坡入港の御豫定なりと

▲獨逸銀行歩合引上　獨逸帝國銀行割引歩合率を五分引上げたり

▲新貴族院議員　公爵島津忠重氏は十月四日侯爵德川義親氏は十月十九日侯爵德川圀順氏は十二月十二日滿二十五年に達するを以て貴族院令第三條により何れも貴族院議席に就く事となれり

▲港灣修理未定　内務省にては港灣調査等に太平洋沿岸に於ける港灣を修築整理すべく調査の上着手すべきも財政多端の際なれば本年度より實行し得るや未定なり

雜報

●駐鮮當番師團決定　駐劄軍第二師團は來年四月を以て滿期となり交替師團は第八師團と決定し既に内命ありたれば同師團にては準備に着手し來年四月青森出發來鮮の豫定にして第二師團も引上げ準備に掛りたり

●滿鮮鐵道連絡期　滿鮮兩鐵道の貨客運輸連絡に付て鐵道局及滿鐵より運輸課旅客主任を東京に特派し種々商議し昨今大体の確定を見たるも尚は二三の打合を爲すものあるを以て再び代表者を東上せしめ協議せしめる事となるべきに付其の實施期は多分明年ならんと云ふ

●二大江の流域森林調査　總督府山林課にては漢江及大同江の流域に於ける森林調査を企て數班の森林施業班を出張調査せしめしが其復命書は近日中に脫稿の由にて兩流域の森林とも有望なるを認められしといふ

●定例長官會議　二十二日午前九時より總督府に於て定例長官會議を開き山縣政務總監以下石塚、荒井、池田、宇佐美、菊池の各長官、明石總長、古城安住の兩長官代理等列席の上種々政務の打合せをせり

●土地測量の現況　土地調査局測量課の現況を聞くに慶尚南道、忠淸北道、京畿道の三道は既に測量計算共に全部完了し目下全羅北道、黃海道平安北道半部の測量に從事しつゝあるが來年三月迄には大三角本點の測量を完了すべし慶尚北道は測量を終へ計算中に屬し江原道南部は來る十一月測量を終る筈なりと云ふ

●會寧の新銅鑛　咸北會寧居住齋藤新太郎は同郡内に於て良好なる銅鑛脈を發見したるに依り其採掘の許可を得内地に赴き資本家を求め居たる處大阪の豪商加田金三郎に於て引受くることゝなり同人代理鑛山技師工學士大島十郎現場に至り調査したるに該鑛區は海岸を離る約一里にして道路險惡なるを以て先づ道路を改修し採掘に從事せんと計畫中尚ほ銅塊は當分内地に移出の筈なりと云ふ

●興業會社の近況　尾高專務の談　朝鮮興業會社の朝鮮に於ける支店は釜山、慶山、太田、平澤、木浦、三浪津、黃州の七個所にて其の中黃州の支店が最初（三十八年）に設けられたのである趣旨とするところは農事經營で何れも釜山丈けは倉庫業を營んで居るが經營の方法は會社にて土地（畑水田）を買收し夫れを小作人に貸付けて耕作せしめ其の小作料を以て會社の收入とするのであるが小作料は年々些の滯納なく開業以來未だ曾て一度も紛紜を來したことはない而して現今水田畑の坪數は一万町歩で小作人は約一萬人ある尤も農事經營といつても單に米穀のみではない前記の各地方に蠶業獎勵の目的を以て桑田を作つて居るが之れは未だ利を見るにいたらざるのみか毎年二三千圓つゝの損失を來して居る併し時機にして至らば相當の利を見ることであらう又傍ら金貸業をも營んで居るが要するに昨今の成績は優に豫期以上に達し更に今後朝鮮の發達に伴ふて益々好成績を擧ぐることと信ずるされば會社が朝鮮に於ける農事經營の先驅者として今日の効を收め又收めつゝあるは聊か以て朝鮮開發の爲め誇るに足る事だらうと思ふ翻つて世人は一口に一萬町歩の土地といふが是丈の土地を朝鮮に於て買收することは却々容易なことではない之れ金錢の問題には非ずして朝鮮人が日本人に賣るといふ其の關係の問題であるツマリ朝鮮人は土地を日本人に賣つても其の土地を朝鮮人の小作人に貸し付け呉れ元々通り耕作をされたきことを希望するもの多く爲めに會社の小作人は殆んど朝鮮人である又會社が最初一万町歩の土地を買收した時は全部で八十萬圓であつたが現今では百五十万圓を下らぬ其の差又甚だしいではないか尤も會社が最初土地を買收するときは隨分賣主より騙され少なからぬ損耗を見た併し今後に於ては左ういふブマはしない次に釜山の倉庫業は昨今一千坪の倉庫にて營業をなして居るが成績は宜ろしい唯擴張の計劃はあるが適當の場所がないのと割合に地價が高いので計劃のみで未だ實行の期には至らないナニ終りに内地の資本家といたられぬ朝鮮の企業の關係並に會社令に就ての感想……夫れは今は御免だ

●穀稅廢止と商議聯合會　大坂朝鮮貿易商組合より朝鮮米移出入稅全廢の件に付き同一歩調を採りたき旨當地聯合會事務所に申込來りしに對し廿二日前京城會議所議員執行、進、增田、小林の四氏及山口書記長仁川會議所議員奥田氏及鹽田書記長の七名事務所に參集し協議の結果本件は既に去る四月當地に於て開會したる聯合會に於て決議したる事項なるを以て右決議を重んじ全國聯合會々頭中野武營氏に主務省に對する運動方を委囑することゝなれり尚十月には各會議所より出席するを以て其機を利用して内外相呼應じて大に撤廢運動に盡すべしと云ふ

●仁川鮮人信用組合發起　仁川の鮮人中屈指の資產家にして殊に經濟思想に長せる丁致國及孫星七、鄭永化、金尚鄭、崔聖三、張乃興、金鳳鎬、鄭聖律、沈能德、尹衡叔、張世番、林常潤、仟秉浩、具昌祖、金成玉、等の十五名發起となり信用組合を組織し洽く仁川府管内居住鮮人の農商工業發達を圖らんとて目下其筋に認可申請中なるが今其内容を聞くに數年來不景氣の爲め管内の農民疲弊し昨今最も甚だしく延て商工業に至ても同一の狀態なれば之れが匡救と振興の目的を以て各發起人に於て一萬圓を出資し低利貸付をなし徒んでは一般に金融機關を利用せしめむとするにあれば仁川府廳にても其願意を諒とし從來日本に於て模範と稱せらる熊本縣宇土郡網津村信用組合の規定に則り大に斡旋する處あり再三遞信及農商工部度支部等に交渉したるより度支部にては漢湖農工銀行をして一萬圓の無抵當貸下をなす事に議纏りたる由なれば不日認可せらるべく右事務所は仁川新町一丁目仁川客主團合所に置く筈なるが右組合員は朝鮮人のみなるより府廳にてはこれが監督を漢城共同倉庫會社仁川支店主任栖原茂穗氏に囑托する筈にて交渉中の由

●總督と孔子祭　既報の如く二十三日經學院にては秋季孔子祭を李洞成均館にて擧行するに就き山縣政務總監の臨場を乞ひ來りたるが總監は可成出席すべしとの回答を示せりと

●會議所委員會　京城日本人商業會議所にては二十二日午前十時より役員會を開き穀稅撤廢運動委員東上に關し協議す

●官有財產調査の其後　總督府營繕課にて着手中なる官有財產の調査は目下咸鏡北道に其調査員を派遣し居れるも一般に唱ふるが如き大規模のに非ずして道廳にて調査しある臺帳に基き現存品を引き合す位に過ぎずと尚京城地方の調査は既に大体を終了したるも處有權の判明せずして多年係爭中のものは目下尚調査中なり

●藥品取締規則　警務總監部にては今回藥品取締規則を發布する由にて藥品中にてもアヘン、モルヒネ、コカインの三種の取扱に嚴重に規定せらるべしと云ふ

●仁川石炭商組合組織　仁川に於ける石炭商は從來競爭の結果各々損失を招き之を矯正せずんば弊害の那邊に及ぶべきやも計り難き有樣なるに氣付きし同業者八田林田橋本秋田泉等の諸氏は廿一日午後七時より仁川倶樂部に會合し種々協議の結果同業者組合を組織し從來の弊を矯正することゝなれり

●南山の所有權問題　南山砂防工事は京畿道に於て本月中旬頃より着手すべき筈なるに今尚ほ右工事に着手せざるを以て其の理由とする處を聞くに日韓併合以前即ち日本公使館時代に韓國政府より當時の日本人會に貸與されたるものにして今尚ほ民團の所有地にして官有地にあらざれば該工事の計劃成り居るも施工するの限りに非ずと主張し一面民團側にては該土地は借用地なれば隨て所有權なきは當然なれば併合と同時に官有地に歸したるものにして當廳に於て施工されたしと主張し茲に工事を見合せ居るものなりと

●桑苗の移入數　養蠶の獎勵と共に桑園の開耕も增加せざるべからざる筈にして本年一月より七月迄に内地より移入したる桑苗數は合計百五十一萬四百四十一本價格一萬四百二十四圓に上れりと云ふ

●上半季の漁況　農商工部水產課に於て本年度上半季に於ける全沿海の漁業狀況を調査せんと夫々照會を發したるが本月末には全部の報告纏る可く昨年に比し餘程增進の見込みなりと云ふ

●免許漁業の成行　昨年來農商工部に於て審査中なりし免許漁業出願は一萬餘件中三千餘件の處分を濟みたるのみにて漁業法の制定漁業組合水產組合等の調査にて非常に繁忙を極めし爲め今日まで上申の運びに至らざりしが既に審査を了したるもあり未だ了せざるもあり愈々近日を以て其の處分に着手するに決定したる由

●京城授產場現況　京城授產場にては既に秋蠶の收繭も了したるを以て受產者に對し製絲の概念を與ふる爲去る十五日より學科と共に製絲の實習を行ひつゝあるが本月三十日を以て是等第一受產者の卒業式を擧行する筈なるが十月一日より更に三十五名の製絲受產者を撰定し繭百六十石の製絲實習を行ふ由

●市原總裁の歸京　既報の如く市原總裁は二十二日朝南大門驛着歸京せり

●米國武官の訪問　在東京米國大使館附武官ホーソルン氏は本日午前米國領事と共に警務總監部に明石總長を訪問し總長の案内にて參考品陳列所等を參觀したり因に同氏は二十三日朝平壤新義州に向け出發の筈なりと

●藥師川隊長の巡視　藥師川警務部長は二十二日より五日間の豫定にて水原安城地方を巡視す

●不破事務官の出張　不破度支部事務官は平壤及鎭南浦義州方面へ廿一日出張せり

●賃金業者と金利　昨今金融界は一般に閑散にして京城に於ける個人貸金業者の金利も少しく低落せりと

●仁川商議の多忙　仁川日本人商業會議所にては來十月一日より年度變りにつき目下來年度の豫算案編成中にて事務多忙を極めつゝあり

●順川の農會支會　平安南道順川邑内日鮮人の有志者約百余名は來る廿四日秋季皇靈祭當日に朝鮮農會支會發會式を擧行する筈にて農商工部よりは三田技手出張の途に臨場すべし

●大邱農校卒業式　大邱農林學校は來る二十五日午前十時より第二回速成科卒業證書授與式を擧行する由

●第二分隊の射擊　第二憲兵分隊にては二十二日午前八時より獎忠壇に於て射擊演習を行ふ

●釜山の赤痢益々猖獗　釜山民團區域内に於ける本年度赤痢病患者初發以來十二日迄の總數百四十一名に上り今後尚は五六十名續發の觀ありと云ふ

公人私人

▲泉末吉（朝鮮銀行木浦支店支配人）二十一日入京山本旅館へ

▲長島隆二（大藏省書記官）同平壤行

▲小鹿島饒（農銀支配人）開城行

▲萩谷籌夫（朝鮮新聞社長）同仁川行

▲京城手形交換高▼

月日	金高	枚數
九月廿三日	一二七、九四〇、七三〇	五二三

▲治外法權▼

チト舊聞ではあるが、當地の春秋會が、過日其例會を開いて、代議士小川平吉を招待したときに、小川は席上に於て左の談話を爲した▲曰く朝鮮今後の問題は何と云つても經濟產業の事だ、政治とか法律とか種々八ケ間敷事を云ふのも畢竟は經濟產業を發達させる爲で、爲政者も新聞記者も其積りでやつて呉れなければならぬ▲トコロがアノ會社令は實に困まつたもの、アンナ六ケ敷い法令が有つては何とも手の出し樣が無い▲國有未墾地處分法でもソウだ、其出願の手續の六ケしい事、出願してからとての要る事、アンナ工合では、迚も、迚も、普通の人などには、未墾地貸下げの出願はしても、目的を達することは出來ない▲ヤレ見取圖だヤレ書式にかなつた願書だ、縱ら出しても、出しても、中々及第せぬ、ダカラ大抵はコンが飽きて引下がつて仕舞ふ▲見玉へ、今日迄に未墾地貸下げの許可されたるが幾口あるか、思ふて茲に到ればサテも心細きは未墾地處分の前途だ▲尤も此頃では寺内總督に於ても、會社令や、未墾地法や、其他經濟產業に關係ある諸法令の不完全に氣が附かれたソウだで早晩時世に合ふ樣何とか改められるであらう▲經學院が春秋二期に孔子の祭典をするのは結構の事だが、同院としては此外にも何か立派な仕事が出來ソウなものだ▲譬へば帝國の歷史と模範的の立派な漢文で書いて、日本歷史の智識を鮮人の讀書界に與ふるが如き乃ち其一つだ▲此頃はドー云ふ譯か地方の鮮人と内地人とが喧嘩をヤラカス樣だ、で、ともすれば被害者はイツも鮮人側だが、斯は如何なる現象と見るべきか▲當地取引所設置發企人中にゴタゴタが始まつたとは眞か、若し眞ならば喧々。

仁川醫士諸君に望む

門内外漢

仁川醫士諸氏の疵に間接に港民の衛生を謀り健康を游護すと云ふ點に熱烈で此精神が造次にも顛沛にも離れざるの結果今日の如く完全に近き衛生狀態を保持して行かるゝので之は畢竟醫の天職でもあろうが矢張忠實と敏腕に細密の頭腦を有するからである大底何れの開港場でも四期何種かの傳染病はあるものであるが我が仁川港には之が稀である而も一方衛生思想低き鮮人と接觸して此事なきは當局の所置宜しきにも依れども主として吾人は仁川醫士諸氏力つを待て初めて此點を見出すと思ふ若しも仁川醫士諸氏が皆な悉く皺井竹庵的君くは草根木皮流の一派のみなら鼠齒は忌憚なく橫行濶歩して人命を奪ふであろう軍備が充實して居らば好戰國でも容易に戰爭を仕向けぬ日進月歩の新醫學者が多ければ之れ亦た傳染病毒は容易に侵入せぬ此點は吾人は醫士諸子に大に感謝する點であるが又た更に一つ希望したきことがある夫れは他でもない傳染病患者を取扱ふ事に付て各醫士共非常に差異がある此點は吾人は頓首九拜して醫士諸氏に依賴するのである今之を具体的に説明すると角が立つ然すると平和なる醫士間に門外漢が波瀾を起すことになるから不得要領的に話し若しも心ある者は之を熟讀含味するときは了解する樣に記して一般の注意を需めたい且つ醫士諸氏に懇願するのである僕はある時或る傳染病に罹り某所に收容された其時感慨胸に充ちた依て今其感想を述べよう世人は多くは常にかゝりし醫なる者あり其醫に一家族の生命は依賴しある一朝傳染病が發生したるときは矢張其主治醫に治を乞ふは人情當然である然るに醫は家族に傳染を恐れ又た公衆衛生上規則に依り之を避病院に送る可きを告ぐ此際患者及家族の心中如何家族は勿論感染を恐れざるにあらざるも避病院に收容せらるゝときは生還すべからざるものと解し恐ひに醫士の無情なるを以てす患家は何故に此く恐る可き傳染病者を隔離するに同意せざるのみならず返て之を忌避するか之れ全く治療の冷淡なる病舍の不完全なるに職由するのである避病院として醫士は常に玆にあらす一日若くは隔日に回診するのみ其間若し病狀に變化を來すも應急の手當を受くる能はず夜中の如きは殊に然りである一病舍にして醫なきは盲人の杖なきより以上に悲哀である亦た其避病院に收容さるゝときの光景は一層悲哀である病氣中傳染病程悲しきものはなし若し普通病なら多くの人も見舞はれ夫れ〳〵慰安を與へ與るゝも傳染病となり隔離所に收容さるゝときは之なく又た杖とも柱とも賴む醫士は居らず其苦しきを收容されて見れば思ひ半に過ぐ之れも法規の定むる處致方なしとするも彼に送らるゝは殆ど貧者に限る充分なる治療費用を支辨し得る者は何の苦もなく本院に收容す本院に容る中は朝夕二回の診察を受けられ夜中變化あるも當直醫が來る亦た見舞人も日々來り慰安を與へ與るゝあゝ何たる不公平ぞ醫の病者に接する貧富により厚薄あり貧よりつらき病なれと思へとも肉体上に苦痛なき迄に心棒もなし得可くも之に加へて傳染病に取り付かれ剩され此の冷酷なる治療を受くる身は之のみならず市中の小開業醫も貧富に依りて甲乙あり藥價を支辨し能はざる病者は一も二もなく傳染病の疑あるときは避病院に送り否らざる者には危險を冒して治療をなす之れでは異に傳染病を根絕することは出來ぬと思ふ何となれば貧者の傳染病に罹るときは避病舍に送られ此くの如く助かる生命も助からず寧ろ賣藥の力と自然の治療を待ち治過さるゝときは醫療を受くることを忌避するに至る然るときは統計上傳染病は貧者でも死亡率は多く衛生と云ふことは書餅に歸してしまうと思ふ傳染病は貧者に多いが富者でも犯さる恐れ多くも我東宮妃殿下は腸チブスに罹らせられ玉ひ幸ひ御全快遊ばされたが李王妃殿下には不歸の人とならせられた夫れで貧民の傳染病でも充分誠意で取扱ふてもらいたい之れには避病院を完全にし開放的に自由に自已及家族の信賴よる醫に治を乞ふにしてほしい嫌ても何ても致方なく無理往生に好まぬ醫に治療を乞い又としよき樣君し之れが能はさるときは避病院に決め個人に囑托せす專任醫を置き之に當らしむる樣にするときは今日の如き弊害はなく完全に傳染病を豫防し得進んで避病院に行く樣取計られんことを仁川醫士一同に懇望する次第である

仙友雅會の品評

（呑世居士投）

去る日旭町白水に開ける閑會に一日の清遊を貪らんと出掛て見た意の赴く處は誰も一所と見へ中々の盛會であつた而して其顔振が主に上流人士の樣に見へた、僕等も一圓で御仲間入りが出來て久方振俗腸を洗ふて心氣秋の如く爽然を覺へれそこで僕の品評を記して御禮に換へんと思ふ會主側必ず立腹は御無用だよ

▲淸水東雲畫伯　君は人も知る十數年來在京の畫家で近代の巨擘を以て稱せられて居るが僕は親しく其風貌に接して席上畫を頂戴したのは此回が始めてである揮毫席の前側面より色紙短冊白扇で以て包圍攻擊の中に在りて泰然自若片つ端より切つて拔けしが遂には筆劍折れ心氣屈したと見へ漸く一方に血路を開き退却をした所けば救護班に驅込むで應急手當に六〇六號の注射をやつて元氣回復したらしい君の出品の主なるは絹本釣しのぶ及び蓑仙人の圖は君の健腕を發揮して居た

▲天草神來畫伯　君は山陽の詩によりて何人其出生を判斷する事が出來る永らく美術校で苦勢した丈あつて筆力亦强健且つ酒仙を以て任ずる丈朝から注射をやつたと見へ勇氣旺盛輕妙の筆を現はしたが忽ちにして元氣挫折いつか其姿を隱した處を見ると多少天勝式の怪技をも了得して居るらしいかつて聞く軍隊にては勇氣に對する酒の効力を試驗するにいつも結果不良で酒の勇氣は一時的にして又其反動甚しく只良心を麻痺するに過ぎないと云ふことである不鬪爾畫伯の注射對照を偶然に實驗が出來た君の出品では兵黑の豬なんかは尤も勢あるように見へ誰かが出した扇面に描いた萩の圖などは粹美の極に達して居た

▲湊汲古君　君は町内での有志として公共の事など頻りに斡旋しつゝありしは夙に聞く處なりしが君の隱藝に至つては實に驚かざるを得ない當日の出品絹本山水と藤の圖は素人の書いた物とも思へなかつた山水はちと書過ぎた感なきにあらざるも藤は中々面白く南畫の骨子に寫生的美術を調和して成つのである專門家より見れば多少の弱點なきにあらざるも少しく研究を積まば一家を成すも亦遠きにあらずと思ふ妙な處に長所のあるものだ

▲久保田天南君　君は土地調査局の御役人で天性畫か好きで繪に來たら夢中になることは以前から知て居るが猶且つ探つて見ると東京で法律學校に入つて繪畫を研究した樣子である法政學とは聞かないでもないが法畫學とは是も一風變り稱だ併し土佐畫に法儒云々とある是等もつまり法律と橋梁學とでも並收した學位なのではあるまいか君が出品の絹本布袋小兒の遊びは頗る奇拔な筆趣であつた君の手に成る山水を他で見たが實に幽韻縹渺たる所があつて一体に君想が面白い山水は君の得意と見へる次回はどうか獨特の妙技を揮ふて出品されたものを僕に鑑賞りさせてほしいね

未ば外に二三の揮毫者も有つたが僕は話す丈の材料を持たぬ是には隨分如何はしい會もあるから實は斥候旁々出掛て見たが以上述ぶる如く名に背かぬ優美風逸の會合で月に一回位は面白く遊べる主唱者諸君の勞を多とすると共に同好諸士に紹介するに躊躇しない

目下の急務

高橋天浪投

陸に巨萬の衛兵を備へ海に數千の戰艦を設け此れ以て國家目下の急務となすか學校を增設し教育を勵行す此れ以て目下の急務となすか曰く然らず此等は國家統治に缺く可らざるの治具なりと雖も今日に於ける先んづべきにあらず先つ以て財政の基礎を强固にし國家をして豐富ならしむるに務めざる可らず蓋し國家にして財政豐富ならんか自ら隆盛となり國民自ら富裕と爲り一朝變ありと雖も憂慮するに足らず之れと反して假令陸に海に巨萬數千の鬪備ありと雖も又教育の施政完備して智略優に萬人に優るの士多しと雖も其財政にして缺乏せんか國家は忽ちにして亡ぶべし之れ古より史家の證する所なり夫れ昔古の闘爭は武力なり文明の戰は財政なり今や吾國は戰勝國にして國威頗る々として海外に振ひ內には統治の機關完備して優に文明國を表彰せりと雖も財政大に缺亂して上下共に危急を愛ふこの時に當り夫れ宜しく目下の急務として財攻を整理し國家を泰山の安に置かざる可らず之れ大に當局者たるものゝ勉む可き事ならずや

●諸公債諸株券現物賣買、迅速確實に御取扱可申候
兼業　既製洋服卸小賣　諸官衙御用達
京城本町三丁目
大阪野村德七代理店
田中友吉商店　電話九三九　電略（タ）

★株式會社百三十銀行京城支店
電話百九十四番
振替貯金朝鮮五十八番　一一三番
資本金五百萬圓
頭取　安田善三郎
爲替取組先
畿内　大阪、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道　東京、横濱、八幡、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉
東山道　龜山、彦根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、伊勢崎、長野、高崎、前橋、若松、福島、秋田、能代、土崎、青森、仙台、北方、加納
北陸道　金澤、小濱、高岡、敦賀、富山、福井、伏木、鯖江、新潟、大聖寺
山陰道　宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、太田、倉吉
山陽道　姫路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、鞆、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、呉、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府、小月、下之關、明石、津山、阿知須
南海道　串本、高松、坂出、豐濱、川之石、和歌山、田邊、御坊、新宮、見慶、今治、西條、松山、吉田、洲本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養
西海道　門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、八幡、小倉、中津、行橋、神崎
北海道　小樽、函館、札幌、旭川
臺灣　臺北、臺南、
樺太　太泊、
朝鮮　仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晉州、馬山、尙州、大邱、鎭南、新義州、城津、開城、濟州、大田、金泉
滿洲　安東縣、大連、營口、奉天、旅順
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

警務總監部御許可
檢査濟消毒牛乳
壹合六錢五厘
設備の完全と淸潔は本所の特色なり
京龍一手販賣所の牛乳は歐米式ゲルベル氏の器械にて檢査し合格したるもののみを歐米式の消毒器にて消毒したるものなれば配達後再び煮沸に及ばず其まゝ飮みてよろし
▲新鮮生バタ
あんぜんりんち、そのまゝのみてよろし
京城永樂町二丁目（電話一七一〇番）
藤富國牛乳部
龍山漢江通二丁目（電話二〇二番）
藤富國牛乳部出張所
店主　藤富國太郎
顧問獸醫　肥塚正太
專務獸醫　松原重八
技手　堀井平太郎
京城本町六丁目（電話三〇八番）
㋫藤富國本店

今回諸事改良をなし
最も便利に取扱申候
靜養所
仁川　八景園（電話五五二番）

腸胃新藥
タカヂアスターゼ
東京三共合資會社朝鮮總代理店
仁川本町　竹田津三平

効能ある温泉
浴用効能　りようまちす、ちうふう、しんけいつう、せんき、んびよう、しようかち、しきゆう、ぼうこう、らいびよう、かつけ、はいびよう、じのいたみ、つきやくふちゆん、ひせんがんがさ其他皮膚病一切
外用効能　きりきず、やけど、しもやけ、ただれ、あたまがさ、ちきづ、ひせん、はのいたみ、おせぼ、まんせいできもの、いんきん、たむし、う
内用効能　いつう、りようまちす、いびよう、はいびよう、じんぞう、おびよう、ちようかたる、らいたみ、病後衰弱、りんびよう、しようかち、しきう、酒のよい
京城長谷川町一丁目韓銀建築所北横手（電話一四一一番）
旅館　貸席
浴客　鐵冷温泉

水車唐箕製造販賣
京城明治町百七番戸
土井米吉工場
電話千三百二十六番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
朝鮮銀行
電話（營業部六六番　總務部二六〇番　貳六番）
支店出張所（大阪、仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣）
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

齒科治療
本町六丁目（鐵道ば横町）
ドクトル　中村安子
女子見習募集委細面談
（電話一五八三）

京城旭町一丁目
齋藤齒術所
電話一四一四番

M.C.C.
土耳古巻紙
エムシーシー
專賣局定價は百本に付金九圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣
京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

夜間診察は九時迄
入院随意
六〇六號注射の需に應ず
仁川病院
電話一六番

S.K.S
土耳古賞
エスケーエス
專賣局定價一號金六圓二號金五圓なれども朝鮮内は大安賣
特約販賣店　京城辻屋、龍山貴田、木浦沖永、馬山西川、公州中芝、平壤啓昌洋行、鎭南浦宇治木
仁川　オチ商會
電話七三八
（電略オチ）

文房具　和洋紙　測量器械
日本政府檢定濟
度量衡器特許輸入販賣所
シンサキ本店
京城本町一丁目（郵便局前）
電話七百五番
電話長六四八番
振替口座朝鮮一五四番

大聲發音器

日朝本鮮譜音譜　各種品揃
音譜目錄無代進呈
地方の御注文は振替口座又は引換小包にて御送附可仕候
日本蓄音器商會
朝鮮總代理店
歐米雜貨　洋酒食料品　洋煙草類　直輸入商
京城本町
辻屋
電話二四八番
振替口座八七番

銀行一般の業務精々御便利に取扱申候
京城黄金町（銅峴）
株式會社十八銀行支店
電話四二〇番　五八〇番
○本店　長崎市
○日本、朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、淸國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候
◎貯蓄預金
○元金百圓に付日歩一錢二厘
○一口一錢以上何程にても御預り申候
貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

弊館には夜警の設備有り
陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水產組合指定旅館
第一各保險會社指定旅館
御客様の安全此の上なし
仁川海岸
旭屋旅館
電話二五一

京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候
紙と印刷
諸官衙御用
諸紙　和洋帳簿　印刷　各種製本
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

概略營業品目
和洋帳簿諸紙類
文房具學校用品類
巻紙封筒手帳類
帽子洋傘クッ鞄
洋服附屬品一式
メリヤス類一式
毛布膝掛馬車掛
石鹸香水齒磨類
タオル、ハンカチフ
手袋沓下袋物類
正札　引なし
官衙、陸軍、銀行、會社御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
和洋雜貨卸小賣商
電話二百〇六番
地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候

弊店ノ主義也

登錄商標
元醸造
仁川港宮町三丁目
深見勝三郎
電話二四八番　電信略號（フ）

牛乳大王軍の獨立は斯業界の進歩革命を意味する者なり
朝鮮總督府醫院御用
京城大和町一丁目
平山牧場
（電話一三三番）

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）
坂倉支店

齒科診療
京城本町二丁目三越吳服店前
野田齒科醫院
仁川仲町三丁目末永吳服店隣
野田齒科醫院分院

最上醤油
特約販賣
仁川京城
雄文堂

勿驚破格大勉強
特製
寶味噌
御料理向
味噌製造
漬物問屋
仁川本町三丁目
たからや
電話七三七番

本場精撰
茶
右銘茶各種新物續々入荷に付御小賣とも大勉強仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目（府廳通）
田中芳春園
電話四五〇番
振替京城五〇二番

京割烹
すゞ津祢
南山町二丁目
電話千五百二番

公州芙江
間
定期出帆
芙江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時芙江着後四時半船内御客様の娯樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前　中條運送芙江支店

キ
三宥丸　天草丸　成歡丸　海利丸　成歡丸
九月　瀛船出帆廣告
屯串行　九月　日前　時
海州行　九月　日前　時
蓬島行　九月廿四日前七時
海州行　九月廿四日前三時
大湖芝行　月　日前　時
仁川本町四丁目
合資會社秋田商會船舶部
電話一七三七五〇番

●新町廓内口入屋の卅分（二）　白面子

釣餌は投げられた、彼れの咽喉からは手が出て居る操りの糸は白面子の手に握られた場面はいよ〳〵展開される、「ト云つた如な女ですから堅氣な娘で御座いますと堅氣のれ宅へ奉公さしては線に繋がる私は勿論、周旋を願つた方にも御迷惑は眼に見れて居るので……」と一寸言淀んで「れ愧かしいが……」

妾奉公か酌婦……と云つた如な者に御周旋が願ひたいと思ひますのです」と頗る恐縮の態を粧つてモヂ〳〵して見せる、と女將は左の手でトンと襟を突いて唾液を呑み込み一つ大きくロックリをして「至くですともね何んの貴君愧かしいことが御座いましよう

世間通例の話でさアね」と斷然云ひ放つた女將の顔には決心の色が漂ふ「第一堅氣の奉公では一ケ月七圓か八圓が關の山ですから奉公するなら酌婦に限りますよ、

堅氣の奉公する女は馬鹿ですよ」と何んだか知らん女將さん盛んに亢奮した口調で酌婦の爲めに萬丈の氣を吐く併し聞いて居る自分には堅氣の奉公をする女が何うして其樣に馬鹿なのかは確乎判らぬけれども大した間違ひもあるまいと「成程」と首肯のを見て女將は安心したらしくニツコリして扨「承諾書はれ有んなさいますか」と突込んで來た、サア「夫れが今と云つては無いのですが其内に何どか成らうと思ひますけど……」不安らしく眉を寄せて見せると慌しく手を振つた女將「イエ御心配には及びませんよ

田舎でしたら承諾書は無くても都合が出來ますよ、夕刻には所夫が歸りますから相談して置きましよう併し玉次第ですよ承諾書があつても玉が醜ければ新町などでは無論田舎でも駄目です」と又熱心な調子になる、僕は此處でも「成程」とは云つて見たが腹の内では成程とは思つて居ない「當今は堅氣の奉公口はありませんが田舎行でしたら何人でも差支は無いです、

兎に角玉を拜見しませう」と來た「無論れ眼に掛けるが至く新町にも無い程の美人ですよ、今日と云つては何でから明日伴て來ましよう」と出鱈目に氣焔を吐くと女將は何んと思つたか突然に「れ國は何地ですか」と尋ねる、僕は言下に「大分」と出任せに答へる、スルト女將はすモ懐かし相に嫣然して「オヤマア左樣ですかれ懐かしい所夫も大分ですよ、實は皆

春樓の塚崎の旦那のれ勸めで只今の稼業を始めましたが當今は警察が嚴格なので不正な事は出來ません」と一寸困つた如な顔をして見せて「で大分は何町です」と來た「竹田です」と答へる「竹田は何町です」と來た「裁判所の前です」、ヤ、ヤ、答へる此れから先を問はれたらヤ、フアン〳〵參らざるを得ぬ、話題を轉ずる必要は生じた。（つゞく）

●飛切極上の愁嘆

▽吉彌拍子眼を泣き潰す

京城券番中にて精力家の隨一人つた家の吉彌拍子當地居住の礦山師山内象吉クンと仁川の八景園稲田旅館にて無料の情約を締結に及んだ以來其意氣な所に打込んで妹の春枝や姉のれ美津の前も憚らず惚言け散らし相見る宿は幾代にと定め現在郷里には立派な亭主のある身分をも打忘れ夢中に成つてウジヤジヤけて居たりける此所に此の山内と云ふは所謂礦山師にしてナカ〳〵の人物なれば其朝鮮語に精通せるを利用し鮮人仲間に交際を求め盛んに金を儲けて居たのだか去る頃の儲け方に拙い所があつたと見へ此の程其筋に拘引せられ京城地方裁判所の豫審に付せられた事の詳細は豫審中だから憚るとして一時人の耳目を惹きたる鮮人富豪金佐鎭が强盗事件で第一審第二審とも有罪となりしも服せず木尾、岩本の兩辯護士を代理人として高等法院に上告し同時に保釋を請願した當時金佐鎭の親族某と懇意なるを奇貨とし判檢事間を運動して遣るべしとて多額の運動費を詐取し更らに辯護士の手數料として五十圓をも支出させ横領し全部遊興費に投じたることなんぞが發覺した爲めだとかなり夫れと聞いた吉彌の愁嘆は大したもので今時分はモウ眼なんぞわ泣き潰して居るだらうと云ふ噂だが眞實ならば實に大したものでは御座いませんか

●流車の蝶放御免

▽何時蝶きましたか知らん

龍山と靑坡との間龍山に通ずるガード南北に去る約十間の位置に於て住所氏名不詳の日本婦人年齢二十四五の美人轢死を遂げたり其風体は銀杏返しに顔丸く色白く中背にして着衣は紺変りの死助立縞に帶は唐縮緬友禪と黒繻子の晝夜帶に並の女下駄なり携帶品は女持煙草入に財布中に金七十八錢あり頭部を横樣に真二つに轢かれ僅かに身体が繋がれ居る樣にて一見酸鼻を極めたり廿二日午前六時南大門發釜山行の列車に乘込みたる機關手之を發見し線路番人より龍山警察署へ屆出でたる次第にて同署よりは川村部長直ちに現場へ出張檢視の上死骸は民團役所へ引渡したり尚々轢死の時間に付ては精確に知るを得ざるも廿一日夜終列車第十五列車によりてならんとの事なり詳細は次號に記載すべし因に轢死者の不心得は然ることながら遺骸を秋風洒嘯に曝して顧みざる當事者も無情ならずや

●開盛樓主に説諭

▽娼妓に滿足に食事させず

藝娼妓に對し抱主が虐待と迄行かざるも冷遇しつゝある事は事實なるより南部署に於ては夫々調査の上彼等抱主に嚴重なる訓示を與へし以來逐次改善を見るに至りし此の程突然南部署長宛中の新地娼妓入院患者收容所内より一通の密告書來りしより直ちに其の眞想を取調べしに開盛樓内にては一般の娼妓に對し不親切にして冷遇甚だしく殊に病氣に侵され入院する妓に對しては一層不親切慘酷なる取扱ひを爲し食事の如きも粗食にして虐待の狀ありたるより樓主を呼出し嚴重なる説諭を加へ將來再び斯の如き行爲を耳にせし上は相當處罰を與ふ可しとて放還せりと

●西部管内清潔法執行日割

西大門管内秋季清潔法執行日割左の如し
（二十五日）西部仁達坊、白駒町一丁目、銀杏町一、二丁目（二十六日）西部積善坊、餘慶坊、皇華坊、光化門通り、新橋通り、西大門通り一、二丁目、太平町二、三丁目、照義門通り（二十七日）西部盤松坊（二十八日）竹園町一、二、三丁目、獨立門通一、二、三丁目（二十九日）盤石坊、和泉町、獨立門通一、二丁目、蓬萊町二、三、四丁目（三十日）龍山坊、靑坡町

●赤痢と腸チブス

市内蓬萊町四丁目二十四番戸居住城戸俊一（三十）及鮮人李順根（二五）は赤痢にて西大門内總督府中學校建築場藤田組工場内菊本三吉（三七）は腸窒扶斯にて何れも順化院に收容されたり

●鮮人銅を盗で有罪

京城府南部南大門外櫻井洞二契二十九統六戸林興完方鄭谷完（三六）は本年五月中龍山山下町一丁目二十二番地西村宗三郎に傭はれ朝鮮銀行新築の人夫となり居る中前記西村方の建築用の銅板二貫五百目代價十圓二十五錢を窃取し其後右林興完方に潜伏し居りたるを龍山警察署の手に發見せられ二十一日引致せらる

●頗る吝な女郎買

本町一丁目八木喜市（三五）は二十二日午前一時半頃店を閉し主人も寢に付きしを見斗らひ友人二三の者と共に何も安直にヨボ車に乘り大和新地に乘付け車賃を支拂ふに際し高い安いと野暮な口論を初め面倒なりと互に爭鬪の結果車夫金永俊（二七）の頭部を負傷せしめ警察に突き出され治療代五十錢にて説諭放免

●コソ泥捕はる

京畿道水原郡南門外桃花洞當時住所不定鄭泰永（四十）は八月十日以降北部署管内に於て金品數十圓を窃取同署に捕はれ取調中

●早稲田大學新講義錄

僅々一個年半の短日月を以て高等專門の學科を修得すべく巧みに按排したる者は早稲田大學の政治經濟科、法律科、文學科の三講義錄也蓋し同校多年の經驗に基づき斯かる簡便なる制度を工夫したるものなれば人事日を逐ふて煩雜を來たすの際餘暇を利用して學を修めんと欲する者の爲めには實に有一無二の好機關なるべし特に來る十月より開始する新講義錄に於ては從來の内容に更に幾層の改善を加へ課目を增設し講述者を撰擇して各科とも極めて嶄新なる學理を最も實際的に講述する由なれば通信教授として殆んど理想的の者なるべし

●秋植球根植物類の實費配付

今や秋植球根類植付の好時期なり此時に方り大和國郡山町帝國植物會事務所にては多年試培繁殖しつゝあり〳〵球根植物中家庭園藝用に最適し花輪豊麗優雅華美で而も栽培容易なる球根類（チユリップ、ヒヤシンス、アチモチ、ハナフシロ、モヌカリー、ダボヂルス、イキシヤ、シラキヌ、パヌラ、モントフリシヤ、グラジオラス）等十種撰拔一組と爲し猶は之れが栽培法を添ねて此際三千人限り分與すべき由なれば要望者は實費として郵券三十錢封入して至急申込めば直ちに分與を受くべしと

●西洋草花種苗の無料分讓

備前國行幸村園藝試驗場にては歐米各國の珍奇草花數百種の試作中結果好良の新草花二十餘種を撰拔し何人にも送與する由希望者は袋代及び送費として三錢切手を三枚添へ申込むべしと

西洋商話

たつた一本の葉巻煙草

たつた一本の葉巻煙草に大に勉强は商賣繁昌の基と悟つた一料理店の主人公、味や分量や食器の競爭では果しがないから、何がな一つ變つた方法で勉强振りを見せ、之を評判に客足を引かうと考へた末、會計が濟んでれ客樣がイザれ立ちと云ふ途端に、主人自ら門口に走り出でゝれ歸りを待受け「誠に御粗末樣でムいました、萬望これにれ懲りなく御再來をと懇に挨拶し、埃及煙草の香高き一箱の蓋押開いて粗菓でムいますが一本召上つて」と薦めることにしたが、果せる哉顧客は其勤强ぶりに厚意に感じて、知己朋友迄も引連れて食べに來るやうになつた。

●演藝だより

▲歌舞伎座　毎夜好人氣なる木村猛夫一行二十三日の代藝題はれ馴染の「不如歸」全九場にして重なる役割は浪子（君子）千々岩（稲葉）片岡中將（寺田）山本（富士井）加藤夫人（藤島）乳母いく（木曾）武男（木村）

▲浪花館　吉川今勝一行の浪花節にして其の讀物左の如し
大高源五の笹買り（弧舟）慶安太平記（廣澤樂園）空屋死美人、紀尾井阪爆烈彈の二席（吉川今勝）

●壽座の琵琶大會

朝鮮研究會にては明二十三日二十四日の兩日午後六時より壽座に於て筑前薩摩琵琶大會を開催する由なるが二十三日夜の出演者左の如し
一明智湖水渡井上霞曉子一那須與市扇の的大塚曉潮子一本能寺薩摩琵琶鎌田清風子一川中島霞泉女史一小楠公の後日上野豊秋子一城山薩摩琵琶久木田天江子一廣瀬中佐曉濤子一敦盛望月ゆき子一壇馬謙某子

●吉川今勝を聽く　彩霞香雲樓主人

二十一日の夜浪花館に今勝を聽く可く行つた、十五錢均一（特等三十錢）と云ふ破格の安値に八時頃には八分の入を見た、僕が行つた時は弧舟は讀切り間際だつたから評に及ばず、廣澤樂園は「慶安太平記」を讀んで居る、此の人初の出は非常に好いが中程になると聲が途切れる節の段になると時々影も形も見らない如で聽者にまで通らぬ、アノ美聲で惜しいものだ、何故だらうと訊いて頂戴「修業が足りないからだ」の一語で足りる、好漢勉强しろ、次はれ馴染の今勝・彼れの浪花館に看板を上げたのは此れで三度目だが初度の時は京城の好浪家に名を知られなかつたので中日迄不入であつた、と見に取つて怜悧なる彼れは破格の値下を斷行したので中日後から大入を取つた夫れで今勝の名は今では稍京城に知られて居る、此の前も「紀尾井坂爆烈彈」を前席に後席も同じ明治物であつたと記臆するが今度も「紀尾井坂」を前席に「空屋の死美人」を後席に殆んど三時間に亘つて長講する、明治物にかけたら彼れは實に天下一品である、此れ程の長講に客をダレさせぬ手腕に驗ても非凡の才は窺はれる、强いて疵を索むれば音聲をヌスムのと比較的節が少ないのが物足らぬ、對話から道行の輕妙に至つては類が少い、名を惜らず實力を以て立てる彼れの意氣と藝とは僕が好浪家諸君に推稱する唯一原因である、併しアノ入字髭には不贊成の意を表白して置かう呵々

▲遊廓に向つて改良呼はりも少々野暮な沙汰ながら其方樣、此方樣ともに好かれと浮れ蛙の頬冠り向ふ不見に思ふ所を一寸喋舌らして頂戴して後は何日のれ喉に取りかゝる▲第一は鴇母の樣な仲居の改正▲第二は朝六時ともなれば湯及び火等を娼妓の部屋〳〵に運ばする事▲第三は踊りがけの十分を急き立てざる事▲此れ何んでもない如で大層客に好き感じを持たするものなり▲京城樓の鈴子は退院間もなく又々入院の憂目を見て居たが此の程芽出度全治退院▲濟淮樓の蝶々は昨年一度凱旋したのながら事情と云ふのがあつて二度の勤めを致したの程あつてナカ〳〵の手取女で六尺もある大男を手玉に取つて居る相なり、香具師に見せたら明治町の空地で一興行と云ふなるべし▲大桃屋の銀鳥や笹波は死んでゝも居るのだらうかチツトも廓のうわさ中に其名が見ぬないと云つて心配して聞き合せらるゝ方に申す「精探の結果未だ生きて居る安心あれ」▲濟月文の助は近々年期が滿けるので競爭者續出▲第一樓の月子は初々しは利巧者だ、と褒めたのを見て舌をベロリと出さうと云ふ初々しい所が彌の手取女▲同樓の高窓去る日の記事を睨んで「確に彼奴が投書したに相違ない今度見かけたら他妓の客でも關うもんか嚙み殺して遣る」▲井門支店の新妓房枝、君枝の兩妓は眞實の姉妹にて兩人とも薩摩琵琶の名手にして高等女學校卒業の才媛にして發繩教師の免狀を有す、は多藝なものかな、然れば温良い淑女かと思ふとドいゝコイ何うしてナカナカの莫連者で前科があると思はれる▲日曜樓の七越は親切者が呼び物となつて大した景氣で好かぬ客は取らねとよ、と振られた如な人の立話▲京城樓の月子は可愛相にも入院したり▲報告了ッ（郭雀）

診療 午前九時より十二時 午後一時より六時
休日 日曜祭日
隆鼻術 成形術 毎日午後

京城支那領事館前
中村耳鼻咽喉科醫院
院主 從七位 醫學得業士 **中村健吉**
（電話一五四一）

▲**移轉御披露**▼

謹啓秋冷の候各位益々御清穆の段大慶の至りに存候さて弊軒儀開業以來日に増し繁榮仕候段偏に大方顧客の御眷顧に因る者と感銘罷在候就ては從來の處にては家屋の狹隘なる爲め御客樣の御満足を買ふ事覺束なくと存じ今般旭町一丁目新一番戸（大村氏別邸）を増築移轉仕り精々相働き可申候に付何卒倍舊御引立の程奉希候

旭町一丁目（元大村氏別邸跡）
精養軒主人敬白
電話一〇四三番

◎**急告**◎

一當町内道路取擴に相成候得共弊店は從前の場所即ち舊店舖の裏手（舊店舖を除けば直に新道路に面す）に引續き營業一日も休業致さず且つ此際諸品共特に相働き可申候何卒不相變舊倍御引立御用命奉願上候也
鐵●鋼●浪平板●洋釘●鐵條網●鐵管類其他割安品持合居候

電話一一七八
京城御成町 大阪
村上支店

かぜ、ねつさまし
アセピリン

主治効能
流行性感冒、四季引風痰咳一切の熱病に偉効あり
定價（二日分金十錢 四日半分金二十錢）
▲全國各藥店に販賣せり

代理店 京城 **丸正大藥房**

移轉御披露

秋冷の折柄各位益々御清穆之段慶賀不斜候扨弊店義格別なる各位の御引立に依り繁昌いたし從來の營業場所にては狹隘と不便不尠從て各位の御厚意に戻る如き事相生じ候ては遺憾と存じ道路南大門外御成町に移轉し九月一日より同所に於て一層業務擴張勉強可仕候間倍舊の御愛顧を賜はり度此段御案内旁々奉懇願候 敬白

朝鮮總督府鐵道局承認
朝鮮運輸聯合會巡計加盟店
海陸運送
㊇
京城南大門外御成町
河村組運送部
店主 河村千治郎
特電話二六八番
振替口座京城二八番

法學博士 農學博士 **新渡戸稲造先生著**

修養

▽定價一圓七十錢▽郵稅十二錢▽ト製金文字入函附▽紙數六百廿頁裝幀堅牢

◎**當代萬人の渇望**せる新渡戸先生の**修養書**遂に出でたり
◎先生が**高德博學一世の師表**たり殊に**說明の巧妙**は舉世感歎す
◎**本書**は先生が**四十年間日常工夫實行**して模範を示せる實驗訓也
◎故に**訓話明快適切迷ふ者を導き煩悶する者を救ふ**
◉泣く人の**涙を拭ひ不滿者の心を慰め弱者の落膽に力を與へ**
◉逆境の者に**善用の法**を示す等**讀者覺**えず**感奮激勵す**
◉**德教混沌**の今日青年大人は無論男女共通**無二の大經典也**

發行所 東京京橋南紺屋町 **實業之日本社** 郵便振替貯金口座東京三二一六番

早稻田大學講義錄

●新學年開始校外生募集●

政治經濟科講義

第一號 十月一日發行

- 政治原論 法學博士 浮田和民
- 政治道德論 法學博士 浮田和民
- 帝國憲法 法學博士 副島義一
- 行政法總論及各論 法學博士 清水澄
- 比較市政論 教授 安部磯雄
- 自治興新論 法學博士 井上友一
- 社會政策 法學博士 桑田熊藏
- 植民論 講師 石黒定美
- 經濟原論 法學博士 井上辰九郎
- 經濟政策 法學博士 河津暹
- 貨幣論 法學博士 河津暹
- 銀行論 ドクトル・オブ・フィロソフィー 服部文四郎
- 財政學 法學博士 田中穗積
- 豫算論 法學博士 田中穗積
- 公債論 法學博士 田中穗積
- 會計論 法學士 工藤重義
- 交通論 ドクトル・オブ・フィロソフィー 伊藤重治郎
- 關稅論 商學士 小林行昌
- 社會學 文學博士 遠藤隆吉
- 法學通論 法學士 三潴信三
- 民法要論 法學士 飯島喬平
- 刑法要論 法學士 泉二新熊
- 商法要論 法學士 柳川勝二
- 平時及戰時國際公法 法學博士 中村進午
- 簿記學 商學士 松村吉則
- 科外（高等文官外交官其他各種試驗問題及解答、海外時事評論、講義錄研究法及評解）

法律科講義

第一號 十月五日發行

- 法學通論 法學士 三潴信三
- 帝國憲法 法學博士 副島義一
- 行政法總論 法學博士 清水澄
- 行政法各論 法學博士 清水澄
- 刑法總論 法學士 泉二新熊
- 刑法各論 法學士 泉二新熊
- 民法總論 法學博士 仁井田益太郎
- 物權法（第一部第二部） 法學博士 横田秀雄
- 債權總論 法學博士 横田秀雄
- 債權各論 法學博士 横田秀雄
- 親族法 ドクトル・ユーリス 坂本三郎
- 相續法 法學士 柳川勝二
- 商法總論 法學士 飯島喬平
- 會社法 法學博士 松本烝治
- 商行為法 法學士 須賀喜三郎
- 保險法 法學博士 粟津清亮
- 手形法 法學博士 松本烝治
- 海商法 法學士 市村富久
- 刑事訴訟法 法學博士 豊島直通
- 民事訴訟法（第一編第二編） 法學士 岩田一郎
- 民事訴訟法（第三編乃至第八編） 法學博士 仁井田益太郎
- 破產法 法學士 岩田一郎
- 平時國際公法 法學博士 中村進午
- 戰時國際公法 法學博士 中村進午
- 國際私法 法學博士 山田三良
- 科外（講義錄研究法及評解、判決例批判、高等文官判檢事辯護士等の試驗問題疑答、其他）

文學科講義

第一號 十月八日發行

- 倫理學研究 マスター・オブ・フィロソフィー 文學士 佐藤徴
- 教育學 文學士 大瀬甚太郎
- 教授法 講師 樋口勘治郎
- 哲學概論 文學士 紀平正美
- 心理學概論 文學士 大槻快尊
- 近代の文學論 教授 島村瀧太郎
- 最近美學說 教授 島村瀧太郎
- 近世文學思想の源流 文學博士 坪内雄藏
- 歐洲近代文藝思潮 早大文學士 相馬昌治
- 日本文學史 教授 永井一孝
- 支那文學史談 バチェラー・オブ・ロース 松平康國
- 日本文法 文學博士 金澤庄三郎
- 言語學 文學士 藤岡勝二
- 支那文典 講師 廣池千九郎
- 古事記選釋 文學士 千秋季美
- 萬葉集講義 文學士 岡田正治
- 近古文評釋 講師 松井簡治
- 大鏡增鏡選釋 講師 種村宗八
- 源氏枕草紙選釋 教授 永井一孝
- 和歌評釋 文學士 尾上八郎
- 俳句評釋 文學士 坂本四方太
- 四書小學講義 教授 牧野謙次郎
- 左傳史記講義 バチェラー・オブ・ロース 松平康國
- 唐宋文評釋 文學士 丸井圭治郎
- 唐詩選釋 教授 桂五十郎
- 支那時文評釋 早大政學士 青柳篤恒
- 科外（講義錄研究法及評解、創作評論、讀者文藝、文部省檢定試驗問題疑答、其他）

本講義の特色

◉**政治經濟科講義**は斯學に於ける本邦獨擅の講義錄にして立憲國民たるの修養を與ふるを以て主眼とし一面各種受驗者の參考たらしめ且つ實業家其他經世に志す者の指南車たらしむ

◉**法律科講義**は公私諸法に渉り斬新の法理を極めて實際的に解說す而も擔任講師には司法官、辯護士、高等文官等各試驗委員を網羅したれば各種受驗者は勿論公私の實務家にとり必要缺く可らざるや言を俟たず

◉**文學科講義**は世に定評ある本大學文科の學課に準據し兼て教員檢定試驗の準備に必要なる學課を參酌して成れるもの、是亦斯學に於ける我邦唯一の獨習機關にして志を教育に寄せ趣味を文學に有する者の絕好伴侶たり

◉**講義錄卒業者**には**本大學無試驗入學**及上級編入等の**特典**あり

◉**各科**共十八月の**短日月**を以て能く**專門學術の精髓**を窺はしむ

●**見本**付**詳細規則書**及**各學課表申込次第送呈**

早稻田中學講義（貳年修了）

早稻田商業講義（壹年半修了）

上記二種の講義錄は本年四月新學期を開始し講義は目下佳境に進めり此際の入學者には月謝の分納を許し第一號より發送す又特に速成の便法あり
詳細規則書申込次第送呈

東京牛込早稻田
振替東京一一二三番
早稻田大學出版部